

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年2月12日(2021.2.12)

【公開番号】特開2020-25587(P2020-25587A)

【公開日】令和2年2月20日(2020.2.20)

【年通号数】公開・登録公報2020-007

【出願番号】特願2018-150032(P2018-150032)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和2年12月22日(2020.12.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

判定を行う判定手段と、

前記判定手段の判定結果に基づいて図柄変動を実行する図柄変動手段と、

前記判定手段の判定結果に基づいて特典を付与する特典付与手段と、

遊技者の操作対象とされる特定操作手段と、

前記特定操作手段を摸した摸画像表示を表示可能な摸画像表示手段と、

前記特定操作手段に対する操作の受付けが許容される第1受付状態を発生可能であり、

該第1受付状態において遊技者による操作が受付けされると、該受付けがなされたことに基づいて、期待度が異なる複数態様のいずれかで第1受付後演出を実行可能な第1受付演出実行手段と、

前記特定操作手段に対する操作の受付けが許容される第2受付状態を発生可能であり、該第2受付状態において遊技者による操作が受付けされると、該受付けがなされたことに基づいて、期待度が異なる複数態様のいずれかで第2受付後演出を実行可能な第2受付演出実行手段と

を備え、

前記第1受付状態において遊技者による操作が受付けされた場合、前記摸画像表示が表示されているなかで、該摸画像表示が視認し難くなる態様を第1態様として出現可能であり、

前記第2受付状態において遊技者による操作が受付けされた場合、前記摸画像表示が表示されているなかで、該摸画像表示が視認し難くなる態様を第2態様として出現可能であり、

前記第1態様は、前記第1受付後演出が前記複数態様のうち低期待態様で実行される場合と該低期待態様よりも期待度の高い高期待態様で実行される場合とのいずれの場合であっても出現可能とされるが、前記第2態様は、前記第2受付後演出が前記複数態様のうち低期待態様で実行される場合と該低期待態様よりも期待度の高い高期待態様で実行される場合とのいずれかの場合にしか出現可能とされず、

前記第1態様は、前記第1受付状態において遊技者による操作が受付けされたときには、前記第1受付後演出が前記低期待態様及び前記高期待態様のいずれで実行される場合で

あっても出現可能とされるが、前記第1受付状態において遊技者による操作が受付けされなかった場合には出現しないようになっており、

さらに、

前記第2受付状態が発生する場合、該第2受付状態に対応する前演出表示が当該第2受付状態の発生タイミングを跨るかたちで表示可能とされており、

前記第2受付状態の発生タイミングを跨るかたちで表示可能とされる前記前演出表示が表示されているなかで前記操作の受け付けがなされた場合、前記第2態様が現れる時点において前記前演出表示は非表示の状態にされておらず表示されており、該前演出表示は、前記第2態様に対してその背後側に見えるように表示されており、

さらに、

前記特定操作手段に対する操作の受け付けが許容される第3受付状態をさらに発生可能であり、

前記第3受付状態は、特定BGMが非抑制態様で可聴出力されているなかで発生する場合と、特定BGMが抑制態様または非可聴状態にされてから発生する場合との両方があることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

このような従来の遊技機では、遊技興趣の低下が懸念される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

手段1：判定を行う判定手段と、

前記判定手段の判定結果に基づいて図柄変動を実行する図柄変動手段と、

前記判定手段の判定結果に基づいて特典を付与しうる特典付与手段と、

遊技者の操作対象とされる特定操作手段と、

前記特定操作手段を摸した摸画像表示を表示可能な摸画像表示手段と、

前記特定操作手段に対する操作の受け付けが許容される第1受付状態を発生可能であり、該第1受付状態において遊技者による操作が受け付けされると、該受け付けがなされたことに基づいて、期待度が異なる複数態様のいずれかで第1受付後演出を実行可能な第1受付演出実行手段と、

前記特定操作手段に対する操作の受け付けが許容される第2受付状態を発生可能であり、該第2受付状態において遊技者による操作が受け付けされると、該受け付けがなされたことに基づいて、期待度が異なる複数態様のいずれかで第2受付後演出を実行可能な第2受付演出実行手段と

を備え、

前記第1受付状態において遊技者による操作が受け付けされた場合、前記摸画像表示が表示されているなかで、該摸画像表示が視認し難くなる態様を第1態様として出現可能であり、

前記第2受付状態において遊技者による操作が受け付けされた場合、前記摸画像表示が表示されているなかで、該摸画像表示が視認し難くなる態様を第2態様として出現可能であり、

前記第1態様は、前記第1受付後演出が前記複数態様のうち低期待態様で実行される場合と該低期待態様よりも期待度の高い高期待態様で実行される場合とのいずれの場合であ

っても出現可能とされるが、前記第2態様は、前記第2受付後演出が前記複数態様のうち低期待態様で実行される場合と該低期待態様よりも期待度の高い高期待態様で実行される場合とのいずれかの場合にしか出現可能とされず、

前記第1態様は、前記第1受付状態において遊技者による操作が受付けられたときには、前記第1受付後演出が前記低期待態様及び前記高期待態様のいずれで実行される場合であっても出現可能とされるが、前記第1受付状態において遊技者による操作が受付けされなかった場合には出現しないようになっており、

さらに、

前記第2受付状態が発生する場合、該第2受付状態に対応する前演出表示が当該第2受付状態の発生タイミングを跨るかたちで表示可能とされており、

前記第2受付状態の発生タイミングを跨るかたちで表示可能とされる前記前演出表示が表示されているなかで前記操作の受付けがなされた場合、前記第2態様が現れる時点において前記前演出表示は非表示の状態にされておらず表示されており、該前演出表示は、前記第2態様に対してその背後側に見えるように表示されており、

さらに、

前記特定操作手段に対する操作の受付けが許容される第3受付状態をさらに発生可能であり、

前記第3受付状態は、特定BGMが非抑制態様で可聴出力されているなかで発生する場合と、特定BGMが抑制態様または非可聴状態にされてから発生する場合との両方があることを特徴とする遊技機。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】